

1 研究主題

(令和2年度～令和6年度 5か年継続研究 3年次)

「根室の風土を生かし、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ

社会に開かれた学校教育の創造」

2 研究推進の概要

根室管内校長研究大会を新型コロナウイルスの感染防止のため2年間中止していたが、本年度は3年ぶりに会同による開催となった。

根室管内校長会は小中合同による研究推進と、一人1レポートをもとにした研究大会を下記のような分科会に分かれ行っている。

(1) 「教育課題」に関する内容

研究課題：家庭・地域や校種間における連携・協働の推進における校長の在り方

(2) 「組織・運営」に関する内容

研究課題：学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方

(3) 「指導・育成」に関する内容

研究課題：これからの学校運営を担うリーダーの育成と校長の在り方

(4) 「教育課程」に関する内容

研究課題：豊かな心と健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方

3 研究の成果と課題

- 3年ぶりに会同による研究大会を開催できた。諸般の事情で、60分という限られた時間であったが、一人1レポートをもとに分科会は効果的に運営され、成果を上げた。
- 研究大会はワークショップ形式の話し合いだったため、主題以外の学校経営についての話題にもなり、充実した協議ができた。
- 今後の全道大会研究発表を見据えた分科会の構成で進めることができた。
- 毎年、一人1レポートを作成し、それを各校長が活用したり各市町校長会等で交流したりすることで成果を上げてきたが、さらに充実した協議ができるように検討していく。
- 令和5年度道小研究大会に向け、第2分科会「学校の経営ビジョンの実現に向けた活力ある組織づくりと校長の在り方」に係る提言の準備に協力する。

1 研究主題

(令和2年度～令和6年度 5か年継続研究 4年次)

「根室の風土を生かし、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ

社会に開かれた学校教育の創造」

2 研究主題設定の趣旨

学校教育においては、教育基本法や学校教育法が目指す普遍的な教育の根幹を踏まえ、グローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化を受け止め、児童生徒に未来を作り出していくために必要な力をはぐくむ必要がある。また、新学習指導要領においては、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、連携協力しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちにはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現の大切さについても述べている。

このことを踏まえ、私たちは根室の地に刻まれた深い歴史と先人の志を継承し、生涯学習社会における学校教育の望ましいあり方を校長という立場から究明し、充実した学校経営を推進するために上記の研究主題を設定した。

3 研究内容

(1) 「教育課題」に関する内容

研究課題：家庭・地域や校種間における連携・協働の推進における校長の在り方

(2) 「組織・運営」に関する内容

研究課題：学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方
(令和5年度 道小発表)

(3) 「指導・育成」に関する内容

研究課題：これからの学校運営を担うリーダーの育成と校長の在り方

(4) 「教育課程」に関する内容

研究課題：豊かな心と健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方

4 研究推進計画

- (1) 研修部会を計画的に開催し、研究を推進する。
- (2) 根室管内校長研究大会を8月に実施する。一人1レポートを作成し、研究内容の成果や課題を交流することで、分科会の討議で得た研究成果を各市町に還元する。
- (3) 全日中、全連小、道中、道小の各研究大会に派遣する。

5 研究組織

- ・各単位校長会から研修担当が集まり研修部を構成する。必要に応じ研修部会を適宜行うとともに、年次ごとの研究課題・視点に沿って研究を推進する。

6 その他

- ・令和2年度からの5か年継続研究計画を推進する。